NIE実践報告

1．タイトル：みらい君の広場に応募しよう

2．学校名

北海道　剣淵町立剣淵中学校

3．実践者名（代表者名）

佐藤雅輝　教諭

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科・中学社会地理・２９名

6．単元（本時の学習課題）名

第３編世界からみた日本のすがた　第２章世界と日本の人口　４地域の魅力をつくる

7．目標(狙い)

○過疎化の原因と活性化の取り組みについて理解する。
○新聞記事から剣淵町の取り組みを考え、剣淵町の良さを考える。

8．評価の視点

○過疎化が進行する理由について、事実に基づいて多面的・多角的にさまざまな観点から考察できる。
○剣淵町の取り組みについて、新聞記事を通して理解できる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

世界と日本の人口（９時間）のうち４時間程度

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

① ６５億人の地球のうえで（１時間）
② 長寿の社会のなかで（１時間）
③ 住みやすい都市のために（１時間）
④ 地域の魅力をつくる（２時間）
⑤ みらい君の広場に挑戦（４時間）
　１・２時間目　約半年分の新聞紙（２紙）の中から剣淵町に関連する記事をスクラップする。
　　スクラップを、町内行事、学校関係、観光等に分類する。
　３・４時間目　１４年間過ごしてきた剣淵町について改めて考え、剣淵町のよさについて
　　作文にまとめる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

剣淵町が関係する記事はすべて切り抜きました。多かったのは「アルパカ牧場」、「レークサイド」「について記事です。生徒からは「思った以上に地元の記事が多い」「これからは新聞を気をつけてみよう」という声が聞こえました。

12．成果と課題

今年度の実践は、３回目の取り組みになります。新聞を活用した授業を特設的な扱いではなく、普段の授業の中で自然な形で取り組めるように工夫してみました。夏休みの課題でスクラップ帳作りをさせていたので、生徒自身に新聞切り抜きも上手になってきたような気がします。今年度は１年生や３年生でも新聞と単元を関連づけて学習することができました。これからも自分自身が新聞に目をよく通して、授業で扱えそうな記事を集め活用していきたいと思います。